

ロジスティックシステムデザイン～ロジスティックシステムデザイン：

物流情報システムの立案

職務遂行のための基準

(物流情報システム構想)

- 物流情報システムの改善事例とそれぞれの目的・効果を収集・整理し、ロジスティクスシステム全体への影響を考察したうえで、自社への適用を試みている。
- 輸配送、倉庫業務、在庫管理等の物流機能支援システムを、3PL業務の効率化に用いるだけでなく、サービス差別化手段として活用している。
- 顧客にハードウェアやソフトウェアを提供するだけでなく、情報技術領域と物流技術、輸配送機関等を連結し、物流情報システムの高度化、多様化、オープンシステム化に対応できるシステム・インテグレーションを推進している。
- 物流情報システムを、受発注、需要予測、代金決済等の商流情報や、道路等のインフラ情報とともに総合的に捉え、顧客企業、自社、関係する企業の情報システムと情報を共有・交換できる仕組み作りを目指している。
- サプライチェーンを構成する企業間の情報ネットワークを考慮し、標準EDIの導入を図り、企業間の情報共有基盤の整備を進めている。

(アプリケーション)

- 顧客ニーズの多い定型的な物流情報システムは、あらかじめシステム構成、標準仕様、アプリケーションソフト等を検討し、物流情報システム構築時の品質・精度のアップや納期の短縮化に対応している。
- アプリケーションソフトの作成をアウトソーシングする際に、システムベンダーに対して的確に要件が伝わるよう、あらかじめ要求仕様書を整備し、活用している。

(必要な知識)

1. ロジスティクスシステムの知識 ・部門統制と全体最適化 ・ロジスティクスコスト ・キャッシュ・フローと在庫マネジメント ・物流システム（運送・倉庫・物流情報システム） ・サードパーティロジスティクス（3PL） ・サプライチェーンマネジメント（SCM）
2. 物流管理の専門知識 ・作業生産性管理 ・物流品質管理 ・物流コスト管理 ・環境対策・コンプライアンス
3. 物流技術の専門知識 ・物流の機能 ・運送システムと作業の概要 ・倉庫システムと作業の概要 ・物流情報システムとオペレーション
4. 情報技術の知識
5. コンセプト創造手法 ・ブレインストーミング法 ・KJ法 ・チェックリスト法 など